

アジアへの海外展開、採用のグローバル化 同業への開発ノウハウの提供で事業を拡大

同社は、2003年にPC用オンラインゲームのミドルウェアの開発で創業し、オンラインゲーム市場の創成期からゲーム開発を行っている。現在では、オンライン技術の最先端を追求して、モバイルゲーム・オンライン・コンソールゲーム用の「マルチプラットフォーム」を最大の強みとして、ゲーム開発とゲームタイトルの販売を行っている。今後は、受託制作・協業案件・開発アシスタント・テスティングサービスも行い、事業の拡大を図っていく予定である。

● 所在地	東京都墨田区緑1-19-9-7F	● 設立	2003年
● 電話／FAX	03-6666-9572／03-6666-9573	● 資本金	20,854万円
● URL	https://www.winlight.co.jp/	● 従業員数	90人
● 代表者	代表取締役 藤本 勝寛		



アジア周辺のオンライン市場への進出

同社は、ゲームの開発と販売、保守までの一連の業務を一気通貫で行えることが強みである。その強みを最大限に活かしモバイルゲーム・オンライン・コンソールゲーム用の「マルチプラットフォーム化」を進めて成功してきた。現在では、大手ゲーム機の配信網を利用して自社タイトルのゲームを海外配信するまでなり、今後もスマートフォンゲームのグローバル展開、海外コンテンツの日本への配信、海外企業との協業案件等を積極的に推進していく。

地方の学生やグローバル人材の獲得

同社の成長戦略を担う上で、優秀な人材やグローバルな人材の確保は最重要事項の1つである。地方の優秀な学生やグローバルな人材を獲得するために、2018年に本社を虎ノ門から両国に移転し、会社の近隣に住んでいる社員を対象に住宅手当を支給する「近隣者住宅補助制度」や「自転車通勤手当」等、福利厚生の制度を充実させ、社員が働きやすい職場づくりに力を入れてきた。そのかいもあり既に地方の学生やグローバル人材の受け入れに実績ができ始めている。

「時間と労力をかけた開発手法」のコンサルティング

同社は、オンラインゲームがまだ主流ではない時代から、ゲームだけではなく業務系アプリやお財布ケータイ等の様々な開発を手掛けてきた。同社は「常に泥臭く時間と労力をかけ少しでも良いものを」をコンセプトに開発を行っており、昨今流行りのAI化等の活用による効率化とは逆行した取組みを行っている。しかしながら、この取組は後々のバグ等の不具合や問題が発生しにくく、結果的に生産性を向上させることができる。同社はそれらの開発経験で得たノウハウを同業他社に提供することで、業界全体の発展に寄与している。



オンラインゲームの開発運営



グローバル人材の獲得



160万人以上のアクティブコミュニティー